

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
2021 年度 事業報告

事業名	サブリ村野受付事業						事業担当	受付職員、渡邊、重村				
事業目的・趣旨	枚方市公共スポーツ施設及び文化施設の運営管理											
本年度 重点取り組み	・利用者に対しての安全配慮の取り組み：無事故日数の継続 ・両施設の利用率向上											
2021 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日々管理/利用者対応	――											➡
月切り集計	――											➡
受付職員面談（研修）												○ FB

※毎月の施設利用状況は別紙にて管理

FB：フィードバック

〔成果〕・年度途中に、利用と利用の消毒作業の見直しがあり、消毒作業の日誌の追加や、2 番勤務の早出を導入した結果、職員の協力もあり対応ができた。

- ・年度当初からのコロナ関連による利用中止の電話連絡、掲示物の設置、椅子の片付け、利用者用消毒液の設置、消毒グッズ等の準備と貸出等も引き続き行った。
- ・今年度は、5 月のみ全面使用不可だったので、スポーツセンターは、ほぼコロナ禍前まで利用率が戻ってきている。NPOセンターは、利用団体の多くが高齢者を含んでおり、活動自体を自粛している団体が多く見受けられ利用率が伸び悩んでいる。

NPOセンターの利用 2020 年度平均利用率 37.0% → 2021 年度平均利用率 39.1%（参考：2019 年度平均利用率 42.9%）

スポーツセンターの利用 2020 年度平均利用率 57.8% → 2021 年度平均利用率 81.7%（参考：2019 年度平均利用率 86.6%）

〔課題〕・消毒作業の業務日誌の記入と、利用と利用の間の消毒作業の徹底を図る。

- ・NPOセンターは、スポーツセンターの利用者と違い、緊急事態宣言中に活動を止めてしまったところが多く、解除されても利用率が回復していないので、今後、利用を再開してもらえるようなアピールポイントを考える。
- ・NPOセンターの一時利用室では、曜日や時間帯、または部屋によって、極端に利用が少ないところがあるため、サブリ村野学校などを通して、空いてる時間に利用を促す工夫をしていきたい。

事業名	情報発信と管理事業						事業担当	高尾、重村、松宮、中島				
事業目的・趣旨	・市内のイベント等に関する情報の発信 ・市内の市民活動団体に関する情報の報告 ・その他市民活動に関する情報の発信											
本年度 重点取り組み	・SNS 等を使って最新の情報を提供するための体制と仕組みづくり ・情報提供するためのスタッフのスキルアップと、新たな人材の発掘											
2021 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
ホームページ・Facebook Instagram・Twitter	随時更新											
ひらせんデータバンク	項目・内容を検討					リニューアル 更新作業		リニュー アル公開 11/26	毎月助成金情報更新 登録団体情報は随時、PDF は年 2 回更新			
登録団体ガイドブック			更新									
ボランティアだより	随時配信（メール・FAX・郵送）6/22, 8/6、10/30、1/24											
情報スキルアップ				ホームペ ージ講座 7/30	ホームペ ージ講座 8/6, 13			MS オフ イス講座 11/30	MS オフ イス講座 12/3, 10			学生向け オフィス ソフト講座 3/21, 28
広報紙「ひらんぼ」（季刊）			夏 92 号 発行					秋 93 号 発行		冬 94 号 発行		
情報紙「ひらせんナビ」（月刊）	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行	発行

〔成果〕・登録団体向けにマイクロソフト・オフィス講座（ワード・エクセル・パワーポイント）を 11/26, 12/3, 10 に開催した。6 団体のべ 27 人参加。

- ・学生向けのオフィスソフト基礎講座（ワード・ドキュメント、パワーポイント・スライド）を 3/21, 28 に開催予定であったが、申込がなかったため開催せず。
- ・ホームページに助成金情報、登録団体情報を掲載した「ひらせんデータバンク」を 11/26 リニューアル公開開始。助成金情報は毎月情報更新。
- ・情報紙「ひらせんナビ」では、コロナの関係もあり情報が集まりにくかった。
- ・広報紙「ひらんぼ」に新コーナーを作り、サブリ村野の紹介を行った。93 号「ひらかた市民菊人形の会」、94 号「枚方市スポーツ協会」発行。

〔課題〕・Facebook、Twitter、Instagram に加えて、LINE の活用方法（公式 LINE 等）を検討していきたい。

- ・データバンクを活用し、登録団体との相互情報共有を検討したい。
- ・登録団体や市民の方が、どんな情報を求めているか、受け手側の意見を聞くツールを考えたい。

事業名	学びの広場事業						事業担当	渡邊、高尾、重村、中野				
事業目的・趣旨	・市民活動への参加促進や、市民活動団体の円滑な団体運営の推進のため、NPO基礎講座等、市民活動・NPOに関する各種講座を開催し、人材育成を行う。 ・市民団体に対して講座等を開催する機会を提供することで、自立を支援し、市民活動の活性化とサブリ村野 NPO センターの利用促進を図る。											
本年度 重点取り組み	・NPO 活動を担う様々な人材（市民・市民活動団体・ボランティア・当センター職員等）の育成。 ・団体からのニーズを収集・検討する。 ・次年度の「サブリ村野学校」の実施方法を検討する。											
2021 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
NPO 講座			NPO 基礎講座 6/13						ボランティア入門講座			
マネジメント講座	SDGs 講座 4/17	ニーズ収集・検討		SDGs 講座 7/17 ホームページ作成講座 7/30	ホームページ作成講座 8/6, 13 防災講座 8/12		SDGs 講座 (中止)	MS オフィス講座 11/26	MS オフィス講座 12/3, 10			SDGs 講座 (中止) MS オフィス講座 〔高校生編〕 (中止)
サブリ村野学校	実施方法検討			10 講座 (2 講座中止)	1 講座	5 講座	2 講座		4 講座 (2 講座中止)	1 講座 (中止) 次年度新企画案		1 講座 次年度募集

〔成果〕①NPO 基礎講座として、「NPO 法人になっただけのこと」を緊急事態宣言のため、6/13 にオンラインで実施。19 人参加。

12 月のボランティア入門講座は、オンラインで開催し、7 人参加。初のオンライン開催だったが、大学生の参加があったのがよかった。

②SDGs 講座を対面で、2 回実施し、計 21 人参加。ホームページ講座を対面で 3 回実施し、のべ 19 人参加。 みんなの防災講座を対面で実施し、10 人参加。

マイクロソフトオフィス講座は、一般向けに 3 回実施し、計 26 人参加。3 月に学生向けにオンラインと対面を併用して 2 回実施する予定であったが申込がなかったため開催中止。パソコンを使った講座は、団体にも一般にもニーズが高く、継続して相談も含めて実施していきたい。

③サブリ村野学校は、年間で、のべ 11 団体が 19 講座を実施し、計 140 人参加。1 月には次年度に向けての新企画案を作成し、3 月から団体募集を開始。

〔課題〕①ボランティア講座は、オンラインだったので、当センターのボランティア登録に結び付けるのが難しかった。4 月か 5 月の春先に再度開催したい。

②10 月の SDGs 講座を今年度中に開催できなかった。対面でなくオンラインでもできる「SDGs」の取り組みを考える講座を企画していきたい。

③申込人数が不足し中止した講座が多かった。次年度からの新企画で団体にも広報 PR に取り組んでももらったり、きちんと目的意識をもって実施計画をしてもらうようにしていきたい。

事業名	防災災害支援事業						事業担当	渡邊、松元、重村、中島				
事業目的・趣旨	・ 防災に関する調査研究と成果の発信を行う。 ・ 防災に関する事業の企画・実施及び実施に伴う関係機関との連絡調整を行う。 ・ 東日本大震災の被災地などに対し、継続的な支援を行う。											
本年度 重点取り組み	・ 防災・啓発活動に積極的に参加できる次世代を育成する。 ・ 市の担当課との交流、情報交換を通じて、災害時におけるひらかた市民活動支援センターとしての体制・活動方針を考える。 ・ 防災小学校のプログラムを団体と共にブラッシュアップしていく。											
2021 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
防災小学校 校区・自治会の防災訓練等		阿武山防災 フェスタ 5/22		府民 カレッジ 7/21		枚方市 総合防災 訓練 9/4		川越校区 11/21	高陵いき いき広場 12/11		津田小学 校 2/19 (中止)	牧野いき いき広場 3/12 (中止)
防災学校・講座 (ひらせん主催)					防災講座 8/12						ひらかた 防災学校 (中止)	
自主研修・交流会	災害時に 求められる ICT 利 活用 4/28 みんなで 備える水 防災ミー ティング 4/29		視察 (中止)			災害 VC 開設訓練 9/4	防災士会 泉州プロ ック研修 会 10/9		災害 VC 設置運営 シミュレ ーション 12/22	おおさか 災害支援 ネットワーク 1/25 災害ボラン ティアコー ディネーター 研修会 1/27	交流会 (中止)	
被災地支援（物産販売）		とっておき の音楽祭 (中止)				N P O フェスタ (中止)				天の川 とんど祭り 1/15		
ミーティング等	えんともミーティング：10/5, 11/10 防災小学校企画委員会：10/29, 12/14, 1/21											

〔成果〕・防災小学校事業としては、7 月 11 月 12 月の 3 回のみ会場での実施ができた。

- ・ 他市(高槻市)での防災フェスタ「阿武山防災フェスタ」にオンライン参加し、近隣市との連携の一步ができた。
- ・ 9/4 開催の枚方市総合防災訓練「枚方ひこ防'z 2021」で、枚方市、社協と、ひらせんで連携して、オンラインを使って情報共有する確認ができた。
- ・ 災害ボランティアに関する自主研修実施に向けて検討することができた。当センターの役割を引き続き考えていきたい。

〔課題〕・ひらかた防災学校が中止となり、オンラインでも開催できなかった。With コロナ時代に必要な防災を通したまちづくりを提案していきたい。

- ・ イベントがあまり開催されなかったのも、被災地物産を販売できなかった。今後は、別の方法で応援する方法を考えていきたい。

事業名	多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)の交流機会の提供事業							事業担当	津熊、松元、重村			
事業目的・趣旨	・多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)との協働事業の研修・研究 ・多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)との協働事業の企画・調整											
本年度 重点取り組み	・協働・共助という観点で、行政との情報共有の場として意見交換会を開催する											
2021 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政と NPO の意見交換会			第 1 回 6/4						第 2 回 12/7		第 3 回 中止	
協働に関する勉強会				社会実験 打合せ 7/15	社会実験 打合せ 8/12		社会実験 打合せ 10/7		社会実験 合同会議 ①12/8 ②12/21	社会実験 合同会議 ③1/12	社会実験 合同会議 ④2/3	社会実験 3/13・14

〔成果〕・第 1 回意見交換会は、「枚方市周辺の「まちの価値」を高める取り組みについて」【市駅周辺等まち活性化部】を 6/4 にオンラインで開催。8 団体 14 人参加。

・第 1 回開催後、市駅周辺等まち活性化部と、他の市民団体を含め、3/13・14 に、「エリアマネジメントの社会実験」を実施した。

・第 2 回意見交換会 は、「農」を生かした産業の活性化について【農業振興課】を 12/7 に対面で開催。5 団体 10 人参加。

参加者は少なかったが、どの参加団体も、大変関心が深く、継続開催が望まれるテーマとなった。

〔課題〕・第 3 回目の防災に関する意見交換会は、まん延防止等重点措置の適応期間のため中止となったので、次年度早々に、交流をもちたい。

・市駅周辺まち活性化部との社会実験の開催に向けてコンサル会社が進行する形式で合同会議が開催された。行政主導での社会実験だったが、市民団体の意見も取り入れつつ進められた。今後は、市民団体も率先して提案をしたものも、行政が協力した協働事業ができるような意見交換会を開催したい。

・農業振興課のテーマは、前年度までの里山振興課の課題も盛り込まれており、今後、枚方の魅力的なまちづくりをテーマとした内容の一つになると思うが、行政側の方針や取り組み姿勢が、市民にとって厳しいものになっている。市民や市民団体が取り組みやすいよう、行政側のサポートを提案していきたい。

事業名	多様な人たちが地域課題などを考える場の事業						事業担当	松元、松宮、重村、中野				
事業目的・趣旨	・ 学生がまちづくりについて考え、実践する機会の企画・運営 ・ 市民活動に関する研修 ・ 市民活動への参加に向けた支援											
本年度 重点取組み	・ 学生が行う社会体験活動のサポートを実施する ・ まちづくり井戸端会議の企画・実施											
2021 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学生がまちづくりについて 考える場の企画運営								集合型 高校生対象 11/14			集合型 中学生対象 (中止)	
学生が行う社会体験活動の サポート			第一期				活動成果 発表会 (第一期) 10/23					第二期 3/13
まちづくり井戸端会議	対面で 実施	Zoom で 実施	Zoom で 実施	ハイブリ ッド形式 で実施	対面で 実施	ハイブリ ッド形式 で実施	実施	ハイブリ ッド形式 で実施	ハイブリ ッド形式 で実施	ハイブリ ッド形式 で実施	ハイブリ ッド形式 で実施	ハイブリ ッド形式 で実施

〔成果〕①中学生ディスカッションは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため今年度開催中止。

②高校生・大学生ディスカッション第一期の Action 実践編活動成果発表会を 10/23 に行った。また 11/14 にディスカッション編（第二期）を午前と午後にわけて実施。市内 4 校・市外 1 校延べ 15 人が参加。その内 7 人がアクション編に参加。第 1 回ミーティングを 3/13 オンラインで実施。10 人参加。

③まちづくり井戸端会議は、基本対面で、コロナ禍で会場参加が難しい場合に、WEB 開催、およびハイブリッド形式で実施。のべ 121 人が参加。

毎月、広報ひらかたに掲載し、久先生の名前とまちづくりというキーワードで、新規参加者が増えてきた。行政の方の参加もあった。

〔課題〕①中学生ディスカッション、高校生・大学生ディスカッションともに担い手不足のため、新規ファシリテーターの育成が必要。

②高校生・大学生ディスカッションでは、新型コロナウイルスの感染状況により活動が制限されるため、「アクション」の内容と情勢をみながら取り組んでいく。

③まちづくり井戸端会議は、常連の方も増えたが、よりいろんな業種の方が交流できる場として、行政や商店主、企業などの方にも参加の声をかけていきたい。

学生や主婦などが参加しやすいように、土日や、昼間など、時間帯を変えての開催も企画してみたい。

事業名	相談・ネットワークルーム管理事業						事業担当	職員				
事業目的・趣旨	N P Oに関する総合情報センターとしての市民活動ネットワークルームを管理運営する。											
本年度 重点取り組み	・ 複数で相談対応を行い、スタッフ間で共有しながら相談者へのサポート体制をつくる。 ・ さまざまな相談ケースに備えて、内部研修も行いながら、スタッフのスキルアップを目指す。											
2021 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談対応	随時											
ネットワークルーム管理												
運営委員会（月 1 回）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔成果〕・感染対策をしながら、メールや電話、対面での相談対応はできた。

・ICTに関する継続的な相談、時期に応じた助成金やNPO法人設立に関する相談が特に多く、それぞれ、職員、運営委員で連携して対応できた。

【相談対応（4月～3月）】221件（参考：2020年度151件）

相談者	登録団体	未登録団体	個人	行政	企業	学校	その他※1	計
人数	60	21	56	17	28	13	26	221

相談内容	団体紹介	センター 問合せ・要請	組織運営	NPO	法人格取得	ボランティア	その他※2	計
件数	11	97	7	5	7	4	90	221

※1：地域、他府県中間支援団体など

※2：業者セールス、助成金申請相談、アンケート依頼、オンライン利用など

【ネットワークルーム利用（4月～3月）】1450人（参考：2020年度1318人）

分類	一般（市民、業者その他）	ひらせん関係 （団体・ボランティア）	計
人数	638	812	1450

〔課題〕・現状、相談対応に複数で対応する体制がとれないので、協力や連携が必要な内容については、職員間や運営委員との間で情報共有できるようにしていきたい。

・コロナ禍なので、対面だけでなく、オンライン(Zoom)を使った相談対応も行う体制を組んでいきたい。

事業名	フェスタ事業						事業担当	渡邊、中川、中野、重村				
事業目的・趣旨	イベントの主催及び実践による市民への NPO 活動の啓蒙と周知を図る。 実行委員会を運営することで登録団体の協働力を高める。											
本年度 重点取組み	1. 枚方市を中心に活動する NPO の元気さと有用性を地域社会に発信する。 2. NPO・市民活動団体が相互に支え合う仕組みづくりの一機会とする。 3. 多様な人々の市民活動への参画と協働の場として持続可能な地域社会づくりを目指す。											
2021 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
ひらかた NPO フェスタ (対面式)	企画・立案	出展団体 募集	出展団体 決定			9/26 ※中止						
実行委員会の開催			6/24 全体	7/22 ステージ	8/26 野外 テント							
事務局の運営	4/15	5/20	6/17	7/15	8/19	9/9	10/7	11/11	12/9	1/20	2/24	
広報活動		ホーム ページ	ポスター ・チラシ 作成	ポスター ・チラシ 配付	パンフレ ット作成	広 報 ひ ら か た FM ひらかた						
ひらかた NPO フェスタ (代替)						素案検討	企画・立案			1/11WEB ページ公開		
22 年度推進								会場日程 の検討			会場日程 仮決め	企画・立案

〔成果〕

- ・2 年ぶりの対面式フェスタ開催に向けて企画・立案。出展予定 35 団体。新型コロナ対策に留意の上、実行委員会を 3 回開催。
- ・開催日が緊急事態宣言が発令され、やむなく中止したが、枚方市・大阪府のイベント開催ガイドラインに基づき開催 16 日前まで準備をすすめたことで、コロナ禍でのイベント開催までのロードを把握できた。
- ・対面式の中止の代替として、WEB ページを作成し、参加団体の紹介を実施できた。2022 年 1 月から 3 月末まで、約 500 件の閲覧があった。

〔課題〕

- ・今年度で補助金が打ち切りになり、加えて例年の会場であった枚方市市民会館が閉館になるので、屋外会場だけでは天候に左右されたり、テント代等の予算が組めない。また近年のコロナ感染拡大防止による対策にも手間がかかり、設備投資も多くなっている。→課題解消のため、2022 年度は、サプリ村野を会場に、実施を進めていく。
- ・サプリ村野で実施するにあたって、改めてフェスタを実施する目的について考えていきたい。

事業名	留守家庭児童会室市民参画事業					事業担当	津熊、重村					
事業目的・趣旨	・留守家庭児童会室の児童を対象に行事を実施するにあたり、子育てに関心を持つ地域の人材に参画を求めることにより、地域の子育て力を向上させることを目的とする。 ・市民が関わってもらいやすい留守家庭児童会室の行事の企画・運営を行う事業として実施する。 ・ひらかた市民活動支援センター登録団体がイベントを企画・実施し、団体の PR とともに、活動の幅を広げる一助とする。											
本年度 重点取り組み	・新しい参加団体の開拓（プログラムを人材バンクで公開） ・参加団体が他の団体のプログラムを知る機会の提供 ・多人数（100 人超）や熱中症対策に関して検討する。											
2021 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加団体						反省会	募集 説明会	実施決定	実施 (冬休み期間)		反省会	
市の担当課、児童会室					打合せ・契約			児童会室 希望集約				
当センター					打合せ・契約	反省会		ボランテ ィア募集	実施見守り確認 (冬休み期間)		反省会	

※2021.3.9 の段階で、夏休み(7月～8月)の開催はできないという連絡あり。

〔成果〕・今年度も、緊急事態宣言が続き、4月の段階で委託事業として契約できなかった。夏休み中も緊急事態宣言中だったので、担当課からの連絡もなく、その後の話も進まなかった。

〔課題〕・2年続けて委託できていないので、市民活動課に、今後の方向性を相談。

事業名	自主事業						事業担当	運営委員、職員				
事業目的・趣旨	センターが目指すべきミッションの達成に必要な事業および自主財源の確保に必要な事業											
本年度 重点取り組み	・ 地域貢献 NPO サポートファンド事業 ・ 若者引きこもりネットワークへの参画 ・ 中間支援ネットワークへの参画（関西支援センターネットワーク K N N ・ 北摂支援センターネットワーク）											
2021 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地域貢献 NPO サポート ファンド事業実施の検討					募集要項 案確認	募集開始	1 次選考	2 次選考 (中止)				
フェスティバル協議会	毎月 1 回運営委員会、 3 月に定時総会											
コミュニティ 備品管理	随時対応											
講師派遣	随時対応									1/15 iPad 講習	2/21 相談派遣	
若者引きこもりネットワーク			定例会		定例会		定例会		定例会		定例会	
中間支援ネットワーク参加	KNN 4/23								わくわく 会議 12/22		わくわく 会議 2/24	
法人管理（理事会・総会）		理事会 総会 5/30						理事会 11/26				理事会 3/26

〔成果〕・フェスティバル協議会は、コロナ禍でほぼ会議はなかった。枚方まつりやひらかた NPO フェスタの開催も中止となったため、あまり参加する意義がなかった。

- ・KNN 情報交換会が 4/23 にオンラインで開催。主にサービスグラントの「GRANT(グラント)」についての意見交換を行った。12 月より、オンラインで、NPO・市民活動支援共有ミーティング「わくわく会議」が始まり、全国の中間支援団体同士で、主にコロナ禍での団体対応について、情報交換ができた。
- ・理事会はオンラインと対面でのハイブリッド開催ができるようになった。
- ・ICT 関連の講座開催がきっかけで、地域コミュニティへの講師派遣ができた。その他、未登録団体からも相談や講師派遣依頼があった。

〔課題〕・フェスタの会場が枚方市駅周辺ではなくなったが、今後のこともあり、引き続き枚方フェスティバル協議会への参画をしていく体制が必要。

- ・ふれあいファンドは、今年度、例年通りの日程で募集開始をしたが、活動実績型の応募が 1 団体だけだった。書類審査をしたが選考基準に満たなかったため、2021 度は該当団体なしとなっている。今後、どう事業を進めるのか、どのような団体に助成するのか、育てるのか、貴重な財源をどう活かすのかを協議すべき。
- ・職員だけでなく、理事や運営委員の方にも積極的に講師派遣できるよう、以前のような P R の場所（データバンク等）が必要。

第20期貸借対照表

令和4年3月31日現在
特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	26,408,821	未払金	2,604,590
貯蔵品	160,200	前受金	226,000
未収入金	5,469,206	預り金	-16,806
前払金	39,340	仮受金	158,200
仮払金	28,025	未払法人税等	1,112,800
		未払消費税等	852,400
流動資産合計	32,105,592	流動負債合計	4,937,184
2 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品	29,524	前期繰越正味財産	23,553,800
		当期正味財産増加額	3,644,132
		正味財産合計	27,197,932
固定資産合計	29,524		
資産合計	32,135,116	負債及び正味財産合計	32,135,116

第20期 活動計算書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	差異 ②－①	備考
I 経常収益				
1 受取会費	300,000	298,500	-1,500	
2 受取寄附金	50,000	5,000	-45,000	
3 事業収益				
受託金事業収益	37,211,275	36,519,650	-691,625	
事業収益	80,000	83,810	3,810	防災・講座・機器利用料他
販売収益	50,000	32,750	-17,250	防災
4 補助金収益				
枚方市補助金収益	650,000	650,000	0	NPO情報発信イベント事業
5 助成金収益	0	0	0	
6 その他収益				
受取利息	200	146	-54	枚方信用金庫他
雑収入	0	0	0	
経常収益計	38,341,475	37,589,856	-751,619	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	26,763,835	23,173,594	-3,590,241	
法定福利費	2,000,000	1,788,455	-211,545	
福利厚生費	252,000	284,158	32,158	中退共他
人件費計	29,015,835	25,246,207	-3,769,628	
(2) その他経費				
仕入高	50,000	42,260	-7,740	
広報費	200,000	143,000	-57,000	
旅費交通費	458,000	61,360	-396,640	
通信運搬費	350,000	267,040	-82,960	
消耗品費	903,000	640,826	-262,174	
事務用品費	360,000	49,440	-310,560	
賃借料	414,000	54,600	-359,400	
修繕費	40,000	33,000	-7,000	
保険料	176,000	159,810	-16,190	
支払手数料	63,000	81,510	18,510	
図書費	30,000	0	-30,000	
会議費	182,000	57,268	-124,732	
外注費	1,289,000	1,167,495	-121,505	
その他経費計	4,515,000	2,757,609	-1,757,391	
事業費計	33,530,835	28,003,816	-5,527,019	
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	1,460,000	1,308,930	-151,070	
福利厚生費	28,000	10,000	-18,000	
人件費計	1,488,000	1,318,930	-169,070	
(2) その他経費				
旅費交通費	13,000	6,280	-6,720	
通信運搬費	100,000	88,364	-11,636	
租税公課	45,000	40,800	-4,200	
消耗品費	60,000	40,392	-19,608	
事務用品費	100,000	0	-100,000	
賃借料	260,000	12,100	-247,900	
支払手数料	3,640	854	-2,786	
減価償却費	80,000	88,560	8,560	
会議費	41,000	39,467	-1,533	
慶弔費	40,000	10,000	-30,000	
雑費	580,000	572,391	-7,609	
法人税等	300,000	1,112,800	812,800	法人税等
消費税等	1,700,000	1,693,800	-6,200	消費税等
ふれあいファンド	299,000	120,000	-179,000	
社会企業家	121,000	0	-121,000	
エコポイント寄付	40,000	0	-40,000	フェスタ、防災学校、消耗品
WEB設備費用	1,000,000	797,170	-202,830	
その他経費計	4,782,640	4,622,978	-159,662	
管理費計	6,270,640	5,941,908	-328,732	
経常費用計	39,801,475	33,945,724	-5,855,751	
当期正味財産増減額	-1,460,000	3,644,132	5,104,132	
前期繰越正味財産額	23,553,800	23,553,800	0	
次期繰越正味財産額	22,093,800	27,197,932	5,104,132	

財務諸表の注記

- 1 重要な会計方針
 - (1) 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準によっています。
 - (2) 固定資産
 - ① 計上基準
30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。
 - ② 減価償却の方法
定額法により減価償却を実施しています。
 - (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。
- 2 減価償却累計額 1,856,774円
- 3 保証債務、担保提供資産はありません。

第20期 財産目録

令和4年3月31日現在
特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高		274,062
普通預金枚方信用金庫本店営業部		18,535,500
普通預金枚方信用金庫星ヶ丘支店		87,900
普通貯金星ヶ丘郵便局		100,000
郵便振替		2,084,483
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (エコポイント用)		965,020
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (ふれあいファントム用)		803,297
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (社会企業家用)		533,328
定期預金枚方信用金庫本店営業部		3,025,231
未収入金		
NPOサポート事業		3,824,750
サプリ村野受付業務		1,644,456
貯蔵品		
日中貿易 マスコット 600個		160,200
前払金		
スポーツ安全協会 ボランティア保険料		39,340
仮払金		
切手買置き分		28,025
流動資産合計		32,105,592
2 固定資産		
什器備品		
折紙機 デュプロフォルダー		29,520
カラーロール印刷機		1
デスクトップパソコン		1
ムラノ 紙折機		1
きぐるみ		1
固定資産合計		29,524
資産合計		32,135,116
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
3月分人件費		1,807,738
3月分社会保険料		109,692
(株)ユニバーサルシステム パソコン他		392,868
3月分経費		294,292
未払消費税等		
確定消費税		852,400
未払法人税等		
確定法人税等		1,112,800
預り金		
源泉所得税		-16,806
前受金		
第21期会費収益		226,000
仮受金		
市民活動課 窓口還付用		58,200
スポーツ振興課 窓口還付用		100,000
流動負債合計		4,937,184
負債合計		4,937,184
正味財産		27,197,932